

「歴史地理学」執筆要領

(2016年8月11日改訂)

1. 用紙・用字

- 1) 手書きの場合は、A4またはB5の400字詰め横書き原稿用紙の使用を原則とする。パソコン用ワープロソフトを使用の場合は、A4の用紙を縦長に用いる。刷り上がりの組体裁に合わせて、論説・研究ノート・共同課題報告・シンポジウム報告は20字×40行、書評・文献紹介は22字×44行の形式で、左右に6～7cmの余白をとり印字する。図表のレイアウトも勘案して、規定の頁数以内に収まることを確認すること。
- 2) パソコン用ワープロソフトを使用の場合は、400字詰め原稿用紙換算枚数を原稿送付状に記入する。
- 3) 旧字体・旧仮名づかいは原則として使用しない。ただし、固有名詞・引用文などでその必要性が認められる場合は、この限りではない。
- 4) 史料などで特に縦書きを必要とするものがある場合は、編集委員会に相談のこと。

2. 論文原稿の構成

論文原稿は、表題・著者名・目次・本文・注・図・表・外国語要旨・キーワードで構成される。

3. 表題・著者名

英文表題とローマ字著者名を付記する。

4. 目次

本文中の章・節の見出しで、目次を作成する。

5. 年次

年次は元号（西暦）、もしくは西暦（元号）のいずれかで統一して表す。

例：安永8（1779）年、1779（安永8）年

「享保年間」・「化政期」などのように年号の特定が困難な場合は、論文中の初出の際に、享保年間（1716～1735）のように記す。ただし、西暦のみで統一することもできる。なお（ ）は、初出の年次以外は省略することが望ましい。

6. 注

- 1) 注は本文の後に一括し、1)、2)として、番号ごとに改行する。1つの注の中では、改行しないことを原則とする。
- 2) 1つの注の中に複数の文献があり、後から再度特定の文献を指示する必要がある場合のみ、各文献に①、②のように枝番号を付す。
- 3) 本文中の注番号は、該当箇所の右肩に、「である¹⁾。」「大坂²⁾」のように通し番号を付す。
- 4) 本文中で文献を指示する場合は、「鈴木¹⁾」,「『○○県史』²⁾」などとする。
- 5) 同一文献を再度指示する場合は、新しい注番号をつけ、「6) 前掲1) 39頁。」「7) 前掲2) ①74頁。」のように記す。
- 6) 注における文献の記載方法は、以下の例による。

・雑誌論文の場合

高橋 学「古代末以降における臨海平野の地形環境と土地開発—河内平野の島島開発を中心に—」歴史地理学36-1, 1994, 1-15頁。……所収頁または参照頁を明記する。

小川琢治「越中国西部の荘宅Homesteadsに就て」地学雑誌26-12, 1914, 1-11頁。小川琢治『人文地理学研究』古今書院, 1928, 121-138頁所収。……必要ならば再録文献を併記する。

Sauer, C.O., "Foreword to Historical Geography" *Annals of the Association of American Geographers*, 31-1, 1941, pp.1-24. ……欧文雑誌名はイタリック体にするか、下線を引く。

・単行本の場合

藤岡謙二郎編『歴史地理学』朝倉書店、1967。……単行本全体を指示する場合、総頁数を省略してもよい。
菊地利夫『新訂 歴史地理学方法論』大明堂、1987（初版1977）、3-8頁。……参照頁を記す。必要ならば初版年次を併記する。

矢守一彦「城下町プランの変容過程」『都市プランの研究』大明堂、1970、247-285頁。……必要ならば章節のタイトルを併記する。

清水三男著、大山喬平・馬田綾子校注『日本中世の村落』岩波書店、1996、369頁。1942年初出。……必要ならば、初出年次などオリジナル版の書誌事項を併記する。

Green, D.B. ed., *Historical Geography: A Methodological Portrayal*, Rowman & Littlefield, 1991, 391p. ……欧文書名はイタリック体にするか、下線を引く。

イーファー・トゥアン著、小野有五・阿部 一訳『トポフィリアー人間と環境』せりか書房、1992。Tuan, Yi-Fu, *Topophilia: A Study of Environmental Perception, Attitudes and Values*, Prentice-Hall, 1974. ……訳書の場合、必要ならば原著の書誌事項を併記する。

・単行本所収論文の場合

小野忠熙「先・原史文化と自然環境」（浅香幸雄編『日本の歴史地理』大明堂、1966）、10-28頁。

Kearn, G., "The Historical Geographical Perspective" in Rogers, A., Viles, H. and Goudie, A. eds., *The Student's Companion to Geography*, Blackwell, 1992, pp.13-18.

- 7) 公刊されていない史料（写本類）や、刊本でも古い時代の希覓書を利用する場合は、その所蔵先（場合によっては請求番号）を明記する。近世以前はなるべく元号と西暦を併記する。史料の翻刻版・影印版・復刻版などを利用する場合で、史料の名称・年代などに関する記述が本文中にある時は、翻刻版などの書誌事項のみでよい。以下の例を参照のこと。

長久保赤水「改正日本輿地路程全図」、安永8（1779）年刊、神戸市立博物館蔵。

『平安遺文』205号文書。……著名な史料集を使用する場合や、同一の史料集を繰り返して使用する場合、このように略記してもよい。

- 8) 電子ジャーナル論文やインターネット上の公開情報については、以下の例による。

例：Nguyen, H.N.and Kimm, D.C., "Rural Poverty and Livelihood Changes under the Aquacultural Development around Tam Giang Lagoon, Central Vietnam" *Geographical review of Japan series B*, 81-1, 2009, pp.79-94.

http://www.jstage.jst.go.jp/article/geogrevjapanb/81/1/79/_pdf/-char/ja/（閲覧日2009年9月21日）。

※電子ジャーナルでのみ閲覧可能な文献は、末尾にその論文の最初のページのURLと閲覧日を明記する。また、インターネットで公開の図表については、そのURLと閲覧日を明記すること。ただし、引用する図表などが印刷物にも掲載されている場合は、印刷物からの転載とすることが望ましい。

例：「阿波国大絵図」作成年不明、徳島大学附属図書館蔵（所蔵番号：徳島1）。

http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/service/koezu/toku1_large.html（閲覧日2009年2月3日）。

7. 図

- 1) 図はそのまま印刷可能となるように、明瞭に製図する。
- 2) 本文とは別の紙に書き、図の挿入位置を本文の欄外に朱記する。
- 3) 図中の文字を写真植字する場合、原図のコピーに、字の位置・間隔がわかるよう字を記入し、さらに字の大きさ、字体などを朱筆で指定する。
- 4) 図の横幅は、通常1段幅（約6.5cm）か2段幅（約14cm）のいずれかになる。これを参考にして、縮小率または刷り上がりの大きさを指定すること。ただし、編集の都合で、編集委員会がレイアウトを変更することがある。図の折り込みは原則としてしない。
- 5) 図番号、図のタイトル、説明・注・出典などを、図の下段に記す。
- 6) 写真も図として扱う。
- 7) 不完全な図は、著者が再浄書するか、著者の費用負担で製図専門家に浄書を依頼する。
- 8) カラー図版を希望する場合は、追加料金を著者負担とする。

- 9) 図の掲載・転載を希望する場合は、投稿者の責任で、当該図の著者や発行者（学会・出版社等）から許可を受けること。インターネットで公開の図についてもこれに準ずる。

8. 表

- 1) 本文とは別の紙に書き、表の挿入位置を本文の欄外に朱記する。
- 2) 表の横幅は、通常1段幅（約6.5cm）か2段幅（約14cm）のいずれかになる。これを参考にして、刷り上がり の大きさを指定すること。ただし、編集の都合で、編集委員会がレイアウトを変更することがある。表の折り込みは原則としてしない。
- 3) 表番号と表のタイトルを表の上段に記し、表の説明・注・出典などは下段に記載する。
- 4) 表の掲載・転載を希望する場合は、投稿者の責任で、当該表の著者や発行者（学会・出版社等）から許可を受けること。インターネットで公開の表についてもこれに準ずる。

9. 外国語要旨

- 1) 論説には1,000語以内の英文要旨をつける。内容によっては英語以外でもかまわないが、必ずしも著者の希望に沿えないことがある。
- 2) 展望・研究ノート・短報・共同課題報告・シンポジウム報告の外国語要旨は任意とするが、つける場合は論説に準ずる。
- 3) 外国語要旨には、そのもとになった邦文要旨を添付する。
- 4) 外国語は、専門家の校閲を受けたものとする。不十分な外国語の場合、編集委員会の判断で、専門家に校閲を依頼することがある。その費用は著者負担とする。

10. キーワード

論説、外国語要旨をつける展望、研究ノート、短報、共同課題報告、シンポジウム報告には日本語・英語のキーワードをつける。外国語要旨をつけない場合、英語のキーワードは必要としない。キーワードは5個以内とし、論文の内容を的確に示す語を選ぶ。とくに文献検索に利用されることを考慮し、著者の造語や一般性のない語、過度に長い語などは使用しない。

11. 書評・文献紹介

- 1) 見出しに、対象書籍の著者名、書名（外国語の場合は邦訳をつける）、発行所、発行年月、頁数（必要ならば図表枚数）、価格を記す。
- 2) 末尾に評者名を付す。